

特定非営利活動法人 奈良県防災士会

令和5年度 第2回 理事会 議事録

1. 日 時 令和5年8月27日（日） 午後2時10分から3時00分
2. 場 所 サン・アクティブ奈良
3. 出席者数 理事総数18名のうち出席者数16名・表決委任者数 4名
監事総数3名のうち出席者数1名
4. 報告事項
 - 報第1号 支部連災害ボランティアについて
 - 報第2号 県支援事業と防犯・防災リーダー研修について
 - 報第3号 本部等に関する報告について
5. 協議事項
 - 議第1号 当面の日程について
6. その他
7. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 開会
 - 理事長末田政一氏が開会を宣言した。
 - 司会者である八幡領事務統括から本会が定款第36条に基づき成立している旨の報告がなされた。
 - (2) 議長選出
 - 定款第35条により理事長が議長を務める。
 - (3) 議事録署名人の選出及び書記記録人の指名
 - 議長より議事録署名人選出に関する事項を諮ったところ、「議長一任」の声があったので、議事録署名人に古瀬副理事長・植村副理事長を選出することに決定した。
 - なお、本理事会記録者に八幡領理事を指名した。

(4) 議事審議

議長が議事の審議開始を宣言した。

一. 報告事項

報第1号は、植村副理事長から以下のとおり報告された。

支部連として9月9日から10日の2日間日帰りでのボランティアを京都府綾部市内で取り組むこととした。また、奈良県支部として鳥取県内の被災状況を確認すべく板垣理事と共に現地視察を行った。鳥取県内では国道が陥没しているところがあったり断水が続いている状況であった。ボランティアセンターも立ち上がっておらず、電力会社の配電線も仮設設備による応急復旧といったところ。災害ボランティアとして入るには時期早々である。京都府の綾部市内被災箇所支援を優先することとしたい。被災状況としては20件の支援が必要という情報を聞いている。8月31日に先遣として現地調査を行う予定である。改めて状況を見てからボランティア募集を行う。

報第2号は、末田理事長から以下のとおり報告された。

県の防犯・防災リーダー研修の日程が決まったので応援参加者を募りたい。また、天理での支援事業の日程も決まったので担当を決めたい。当面の日程の中で調整する。

報第3号は、植村副理事長、石川理事、板垣理事から以下のとおり報告された。

本部の臨時総会開催案があるが進捗していない状況である。

旧女性防災推進委員会からダイバーシティ防災推進委員会へ名称変更された。委員の募集が再開され、40名の募集に対し25名の応募があった。第1回の委員会は8月11日に開催され、防災国体に向けた取組等の報告があった。これまでの組織と異なり多数の男性委員もいる。

プラットフォーム関係の報告事項はない。

以上、報第1号から報第3号議案について全員異議なしとし承認された。

二. 協議事項

議第1号 当面の日程について、八幡領理事から会議資料より説明があり修正、追加等が行われ可決承認がなされた。

次回理事会の日程について協議の結果下記のとおり決定

次回理事会は、通常理事会とする。

日 時	令和5年10月22日（日）	または28日（土）
会 場	未定	

以上をもって、議長から理事会の議事が終了した旨が述べられ、閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和5年 月 日

議 長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩